



4 HIVの感染経路

性行為感染

最も多い感染経路。コンドームの正しい使用は、望まない妊娠を防ぐだけでなく、HIV感染症やほかの性感染症の予防につながります。



血液感染

覚せい剤などの回し打ちによる注射器具の共用などによって感染します。



母子感染

母親がHIVに感染している場合に妊娠中や出産時に赤ちゃんへ感染することがあります。適切な治療や予防対策により、感染率を1%以下に抑えることができます。



握手や軽いキス、咳・くしゃみ、回し飲み、プールやお風呂、トイレの共用などでは**感染しません**。



6 HIV抗体検査

HIVに感染したかどうかを調べるためにはHIV抗体検査を受けるしかありません。

いつ受けるの？

HIV感染初期の検査では、正しい結果が出ない場合がありますので、**感染の可能性があった日から3カ月以上経過**してから検査を受けてください。

どこで受ける？

全国のほとんどの保健所で、住所地に関係なく、**【無料・匿名】**で受けられます。医療機関でも有料(5,000～10,000円)ですが、受けることができます。

HIV抗体検査の流れ(県南保健所の場合)

【予約】 電話で検査の予約

【検査】 問診・採血(8cc)

約2～4週間後

【結果説明・検査後の相談】 結果を聞きに行く(検査時に渡される個人控えが必要)



5 増えている性感染症(STI)

STIは性行為によって感染するすべての病気の総称で、梅毒、性器クラミジア感染症、淋病、性器ヘルペス感染症など10種類以上あります。なかでも、**梅毒は近年、感染者が増加しています**。

STIにかかると性器の粘膜が傷つくことがあるため、HIV感染率が高くなります。STIは感染しても症状が現れないこともあり、放置すると男女とも不妊の原因になります。パートナーと一緒に早期に治療を行いましょう。



7 HIV感染症・エイズの治療

体の中のHIVを完全に取り除くことはできませんが、3種類以上の抗HIV薬を併用することで、HIVの増殖を抑え、免疫力を維持します。最近では、1日1回1錠の服用ですむ薬も開発されています。エイズを発症する前に治療を始めれば、エイズを発症することなく、日常生活を送ることができます。

最新治療「U=U」

抗HIV療法を継続することで、血中ウイルスが検出限界値未満(Undetectable)を維持していれば、性行為を通じてHIVを感染させることは一切ない(Untransmittable)という、科学的に根拠づけられたメッセージです。

理解と支援の象徴
「レッドリボン」



このまちで暮らしている。私もあなたも。 12月1日は世界エイズデー

新型コロナウイルス感染症の影響により、孤立・孤独が他人事でなくなってきたいま、ひとりでも多くの人がHIV／エイズのことを自分事としてとらえ、検査や治療、支援などの正しい知識を身につけ、HIV検査の受検促進や差別・偏見の解消につなげることが大切です。



1 HIVとエイズの今

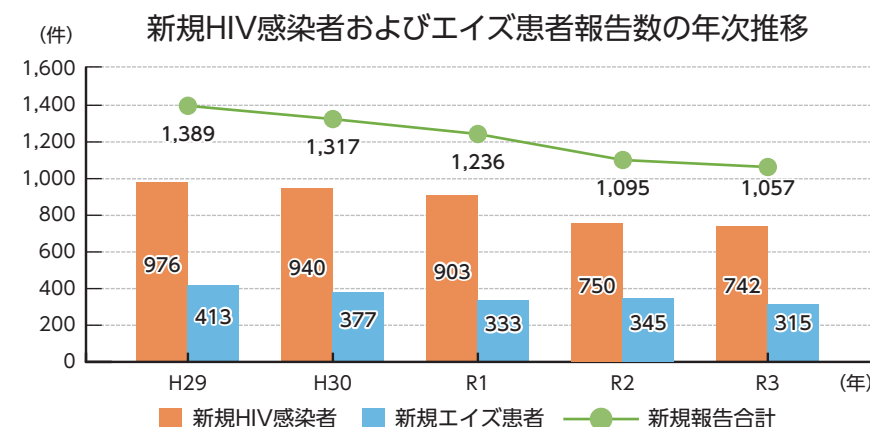
令和3年の新規HIV感染者・エイズ患者報告数は1,057件で、減少傾向にあります。感染経路としては、性行為によるものが約8割を占め、新規報告者数の約3割がエイズを発症してから見つかっており、「いきなりエイズ」と言われています。

また、保健所などにおける検査件数は、令和2年に前年の半数以下に減少し、令和3年はさらに減少しています。新型コロナウイルス感染症の流行に伴う検査機会の減少などの影響で、無症状者が十分に診断されていない可能性もあり、自身がHIVに感染していることを知らない人が、数多く存在すると推定されています。

令和3年

HIV感染者……742件
新規エイズ感染者…315件

*新規報告数は減少しているとはいえ、まだまだ油断できない状況が続いています。



参考：厚生労働省 エイズ動向委員会



2 HIVとエイズの違い

HIVとは

ヒト免疫不全ウイルスのこと。免疫のしくみの中心であるヘルパーTリンパ球(CD4陽性T細胞)という白血球などに感染し、からだを病气から守っている免疫力を低下させていきます。

エイズ(AIDS)とは

日本語で「後天性免疫不全症候群」といいます。HIVに感染し、免疫力が低下することで、さまざまな疾患を発症すると「エイズ発症」と診断されます。



3 HIV感染からエイズ発症まで

HIVに感染してもすぐにエイズを発症するわけではありません。

HIV感染

感染から数週間以内に、風邪に似た症状が出ることもある。

無症候性キャリア期

約1～10年、症状のない状態が続き、免疫力は徐々に低下する。この間、他人へ感染させてしまう可能性がある。

エイズ発症

免疫力が著しく低下し、やがて本来なら自分の力で抑えることのできる感染症やがんを発症する。

エイズとSTIに関する情報・相談

- (公財)エイズ予防財団 電話相談(土日祝日・年末年始を除く)
フリーダイヤル ☎0120-177-812(携帯電話の場合 03-5259-1815)
午前10時～午後1時、午後2時～5時
- 県南保健所 電話相談・検査(土日祝日・年末年始を除く)
☎0957-62-3289 午前9時～午後5時(相談は随時、検査は要予約)



- エイズ予防情報ネット(API-Net)
<https://api-net.jfap.or.jp>